

特集

健康日本21 (第2次)の 初期評価



健康日本21(第2次)では、「健康の社会的決定要因への対策」として、健康格差の縮小、ソーシャル・キャピタルの向上など、さまざまな社会環境の整備を展開していく必要性が示されました。本号では、3年目を迎えた健康日本21の現状での課題を整理し、今後への展望について、さまざまな視点から述べていただきます。

- 健康日本21(第2次)の推進による健康寿命の延伸
- 健康格差対策のための7原則
- 健康格差の評価・測定とその活用
熊本県御船町での取り組み事例より
- ソーシャル・キャピタル(社会関係資本)で地域の特性を探る
- 健康日本21と職場における健康管理
- 健康日本21(第2次)の推進と保健師活動
大阪市におけるソーシャル・キャピタルの醸成に焦点をあてて